

村半利活用検討会（令和3年度第1回）結果報告

日時 令和3年7月29日(木)16時00分～17時20分

場所 村半 大会議室

出席者 検討会メンバー7名、事務局(企画課)3名

内容

1. 開会あいさつ

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用を制限する中であっても多くの方に利用されるとともに、市民の方にも広く知られるようになってきたという印象を持っている。この検討会でいただいた意見を施設の運営や管理に反映することにより、利用促進や安定した運営につながっていることは大変ありがたいことと思っている。忌憚のないご意見をお願いしたい。

2. 自己紹介

各自、挨拶と自己紹介

3. 協議事項

(1)利用状況等について

開所から令和3年6月末までの1年間の利用状況や占用受付、利用にかかるルールについて説明

(2)主催イベントについて

市が主催するイベントの方向性とコンセプトの案について説明

4. その他

地域にお住まいの方へのアンケート調査について説明

<意見交換、質疑> メ:構成メンバー、事:事務局

メ:運営に際し、感じている課題はあるか。

事:高校生の利用について、斐太高校の生徒に偏っていることが課題と感じている。最近、他の高校の生徒や小・中学生の利用が増えてきている。

メ:祭囃子の練習などで村半を利用する予定だったが、感染拡大の防止の観点から利用できなかった。他の団体などについても同じことが言えると思う。利用者が少ないことを理由として、施設利用のルールを安易に緩めるようなことがないようにしていただきたい。

事:現在のところ、利用のルールを緩めることは予定していない。コロナ禍の状況によって、今後利用者が大幅に増え、施設運営に支障が出てくることも予想されることから、状況をみながらルールの追加や見直しなども含めて検討してまいりたい。

メ:教室(レッスン)のような利用が見受けられるが、これは指導料が発生している営利利用ではないか。使用料が無料であること、様々な利用が可能な施設であることから、指導料や月謝をいただくような営利目的の利用がされないよう十分注意してほしい。

事:現在の利用については、営利を目的とした利用ではなく、任意の市民グループによる利用であることは確認している。営業行為としての利用については、占用申請の利用目的や内容を確認して受け付けており、気になるものは追って確認をするなど、今後も注意しながら運営していく。

メ:斐太高校の生徒の中には、村半の利活用をテーマとした研究に取り組んでいるグループがいる。それらのグループの提案や具体的な活動から、さらなる施設の活用ができると良い。

メ:前回問題となった自転車の路上駐車の状況はどうなっているのか。

事:駐輪場が狭いことについては、図書館などの駐輪場を利用していただくなどの対応を取っているが、その他よりよい改善策は、現在のところ持ち合わせていない。商店街などでの、路上駐車については今のところ苦情や意見は受けていない。

メ:路上に駐車されているという話や夜間に利用者が施設外で話をしている声が響き渡っているという話を聞く。それらについて対応をされる必要がある。また、アンケートについて、回答した方がSNSを見ているのか疑問であり、村半において今行っていることに対する反応がみえない。村半での取組みに対する効果測定ができると良い。

事:アンケートについては、開設後初めての取組みとして行ったものの、改善する部分は多いと感じている。今後、項目や手法の見直しなどにより、具体的な対応が取れるよう改善していきたい。

メ:外観について、一目でこういう施設とわかるようにしたほうがよい。外観の色については、古い町並は統一されており、他の建物と同じような色に変えても良いと思う。コロナ禍の状況下にあっても、多くの方に利用がされていることは、施設のサービスがしっかり行き届いていることが要因と考えられる。コロナ禍が終息に向かった後にあっても、変わらず評価される状態であってほしい。他の自治体などからの視察の状況はどのようになっているか。また、どういうところを評価されているか。

事:開設後、様々な団体からの視察を受け入れている。特に、歴史的価値のある建造物を活用しつつも現代のニーズに合わせて改修していることやターゲットを若者にした新たな施設運営について、評価いただいていると感じている。

メ:村半主催のイベントについては、まずは多くの方を集める視点が必要。若者にとって、歴史や文化を中心とした内容では、多くの方を集めることが難しいと感じる。若者が、どうしたらこのような場所に来てもらえるか考えないといけない。若者がどのようにして情報を収集しているか、何に興味を持っているかを分析しながら、情報発信の強化やどのような取組みをすすめるべきか検討していく必要がある。そうした中では、検討会についても、若い方を入れていただく必要もあるのではないかと思う。

メ:若者に主催イベントのアイデアをもらうのはどうか。占用利用が大会議室と中央蔵1階に偏っているため、他のスペースのおもしろい利用方法の提案ができるかよいのではないか。若者が今興味、関心を持っていること以外のことについて提案してもよいと思う。

事:主催イベントについて、若者の興味や関心があることについて聞き取りなどをすすめるほか、高校生などのアイデアを頂きながら開催する方法についても研究したい。例えば、歴史的な建物と現代的な活用をミックスした、村半だからこそのようなイベントを開催していけたらと考える。

メ:住宅街にあること、自動車や自転車が多く止められない状況にある場所であることに留意しながら、有効に利用してもらいたい。この施設の整備前に行われた検討会においては、参加した高校生からは、勉強できる場所がほしいという意見が多かったほか、学校では習えないことを勉強したいという意見も多かった。アニメーションの作り方やプログラミングなど、プロフェッショナルに来ていただき、子どもたちに感動を与えてほしいと思う。

メ:勉強以外の目的で、友人を連れてきて、みんなでやりたいということを実施していくことが大切である。

事:今回いただいたご意見を整理しながら、市、村半スタッフも含め企画を検討していきたい。また、今年については、新型コロナウイルスの感染防止のため、小規模なイベントを様々試していくことも考えている。今後検討会において、相談や報告させていただきたい。

メ:高校生などの若者が何をやりたいのか、まずはその部分をしっかり調べてもらいたい。よく利用する高校生に聞いてみてはどうか。また、いくつもやるよりも、労力や予算をかけて大きな事業を1回実施する方法の方が良いのではないか。

事:若者に求められる取組みについてリサーチしながら検討していく。施設の歴史的背景なども含め村半を知ってもらい、利活用につなげていくことも必要であると考えている。

メ:先日、村半において、鳩峯車組の屋台幕の虫干しを行い、その機会を利用して、地域の方への説明会を行ったが、多くの子どもが参加してくれた。参加者の中で一番興味を持ってくれたのは子どもたちだったので、文化の伝承に関するイベントも実施してもらえると嬉しい。

メ:若者が興味を持って来てくれるイベントに併せて、歴史・文化に関して触れる時間を少し入れていくのもよい。

メ:この施設は、利用者が主体で活動することに対して、市はサポートする立場にあると思っており、村半が主体的なイベントを実施する位置づけが分からない。イベントの実施を目的にすることが無いようにしてもらいたい。伝統や文化の中における科学的な意味を理解してもらい、先程の虫干しの説明会はよい機会だったと思う。イベントのアイデアとして、祭囃子などの伝統行事を鳩峯車組にご協力いただきながら、お囃子の講習会などができればありがたい。

メ:お囃子については協力できると思うが、講習会については、地域ごとに違うこと、音を出すことが難しいこと、笛の準備など開催は難しい。そのほか、地域の子どもに触れさせてやりたいと思い、舞踏家の方に踊りをしてもらうことを、地域で計画していたが実現できていない。若い方と地域の人と一緒に鑑賞するというをやれたらよい。

メ:子どもたちは屋台に興味を持ちやすく、小学生が祭に参加したり、屋台に乗せてあげたりしている屋台組もある。屋台の入れ替えのときも一緒に作業をするなど、すごく関わりたいという気持ちがあるので、屋台に触れる機会に子どもは集まると思う。

メ:屋台は地域の大事な宝物・誇りであるという点から、鳩峯車組では他地域の方を乗せることはしていない。

メ:他の屋台では、祭当日に時間を制限して子どもを乗せており、祭に参加できることがありがたいと好評を得ている。

メ:村半の建物自体の面白さがあると思うので、それに触れてもらうためのイベントを計画されるとよいと思う。

メ:地域の方へのアンケートについて、利用者以外の方の意見を聴く機会は大切であり、アンケートは実施していただきたい。地域の範囲については、近隣だけでなく広く聴取するとよいと思う。

4.閉会あいさつ

いただいた貴重なご意見を村半の今後の運営に活かしていきたい。引き続きご協力をお願いしたい。

以上